

ヤマセミ（カワセミ科） 全長37.5センチ

秋田県版レッドデータブックで準絶滅危惧種に指定されるヤマセミ。

名前のイメージから山深い溪流に生息する野鳥と連想されますが、以外にも市街地に近くて、決して清流とは言えない雄物川で繁殖していたのです。もともと溪流などで一つの沢で一つがいが縄張りを持つ習性があり、生息数も少ないようです。

こうした自然環境が少なくなったのでしょうか、不利な条件にも関わらず私たちが住む住宅街のすぐ側に進出してきたのです。ヤマセミにとっては、大きな賭けといえるような大胆な行動に見えます。



流木から遠くの巣穴を見つめる。

習性はカワセミと同じで、垂直に切り立った土の崖に横穴を掘って営巣します。営巣地は雄物川の岸辺の崖です。

ところが大雨が降るたび増水により巣穴の下部が削られることから、不安定な繁殖になりがちです。

6月28日、上流部での大雨により、雄物川が一気に増水し、中洲は水没してしまいます。

しかし、ヤマセミの巣穴は比較的高い位置にあったので、なんとか免れることが出来ました。



巣穴の近くの護岸から魚をくわえて周囲の安全を確認中。



工事用の矢板から、巣の方向を狙う。

親鳥が餌の魚をくわえてくると巣穴から離れた場所に陣取り、周囲の安全を確かめてから運んでいきます。オス、メスともに魚を運び込んでいるので、雛が産れていることは確かです。雛が巣穴から飛び出してくるところを眺めたいところですが、よほどの運が無ければ無理のようです。



水面スレスレを飛び、ヒナのいる巣穴に向った。



巣穴に向って飛び込んだ。